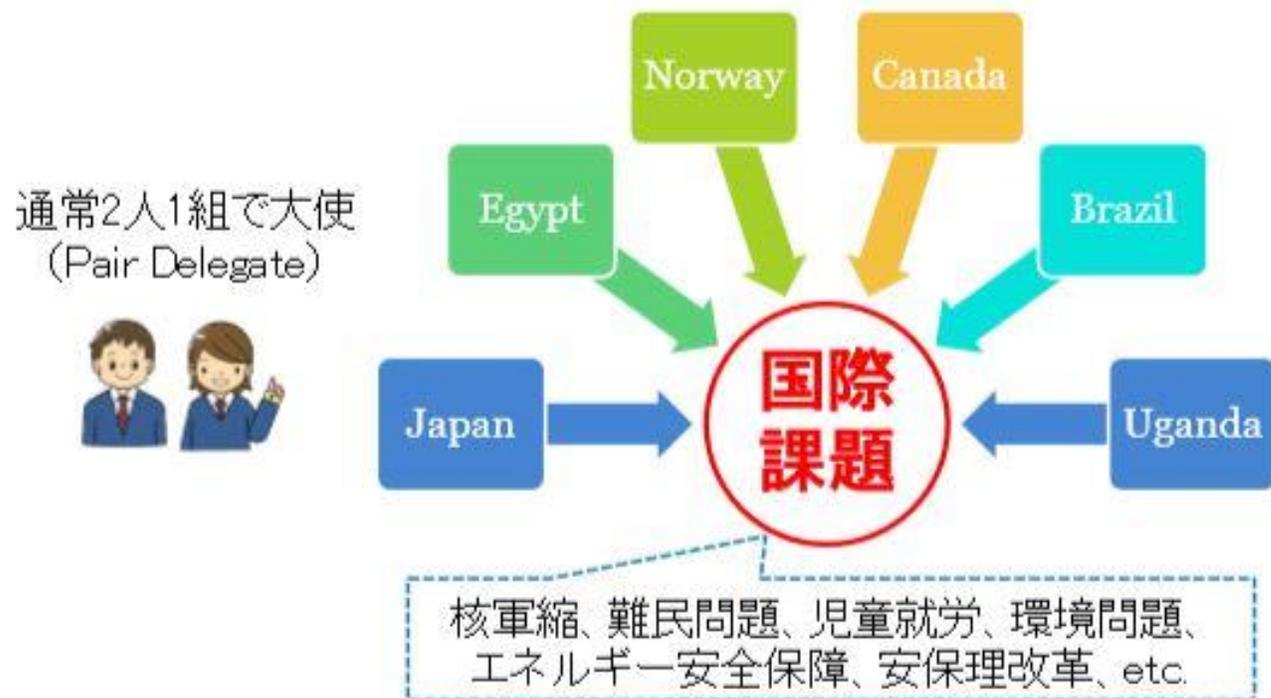


模擬国連とは

What is Model United Nations?

模擬国連 = みんなで国連会議をシュミレーション

それぞれが担当国の大使になって、国際課題の解決に向けて決議案を作る



The Goal of the Conference

会議のゴール

自分たちの主張が反映された決議案を国連会議で通す

① 決議案(DR)を提出する

国が集まらないとDR提出ができない
(1カ国だけでは提出できない)

必要な国数は最初にアナウンスされる



他国とDRグループを形成する



② 決議案が採択される

採択されるには過半数の同意が必要
(過半数いかなければ廃案)



他のDRグループとタッグを組む
DRに賛同してくれる国を増やす

必然的にグループダイナミズムが発生する

MUNCSについて

Model United Nations at Chuo Secondary School

- 1国を4人が担当
- 32か国で会議を行う
- 1年を通して担当国について研究をすすめる
 - * 特に議題に関して、国としての状況、国際的な立場、世界への協働、貢献事例など・・・

今年度の議場と議題

- ・ 議場

World Food Summit 2019 「FAO世界食料安全保障サミット 2019」

FAO: Food and Agriculture Organization

- ・ 議題

～2050年の世界をどう養うか～

世界食料安全保障に関する行動計画の決定

論点①持続可能な生産技術

②食料の公正かつ安全な分配・流通

③安全で栄養のある十分な食料の確保

1年の流れ

4月	・オリエンテーション(模擬国連について)
5月	・グループ分け・国割り・議長団選出
6~7月	・議題決定・ポジションペーパーおよびポスター作製 グループごとに担当国について調べ、ポスターにまとめる
8~9月	GW中間発表でポスターセッション 外部講師による講演
10月	政策提言の作成
11月	スピードインタビューにおいて政策スピーチ

1年の流れ

12月	政策提言 練り直し NP(ネゴシエーション ペーパー)作成
1月	模擬模擬国連 テーマ:国連カフェのメニュー決定 政策最終仕上げ・スピーチ計画
2月7日	MUNCS 第1日目
2月13日	MUNCS 第2日目

国決め

- 32の国を決定(地域や経済力などを考慮)
- 副担任の先生が国の名前が書いてあるくじを引き、班ごとに国が割り振られる

外部講師

- 忍足謙朗氏

国連世界食糧計画（国連WFP）元アジア地域局長。30年以上にわたり国連に勤務し、ボスニア、コソボ、カンボジア、スーダンでも大規模な緊急支援の指揮を執る。



スピードインタビュー

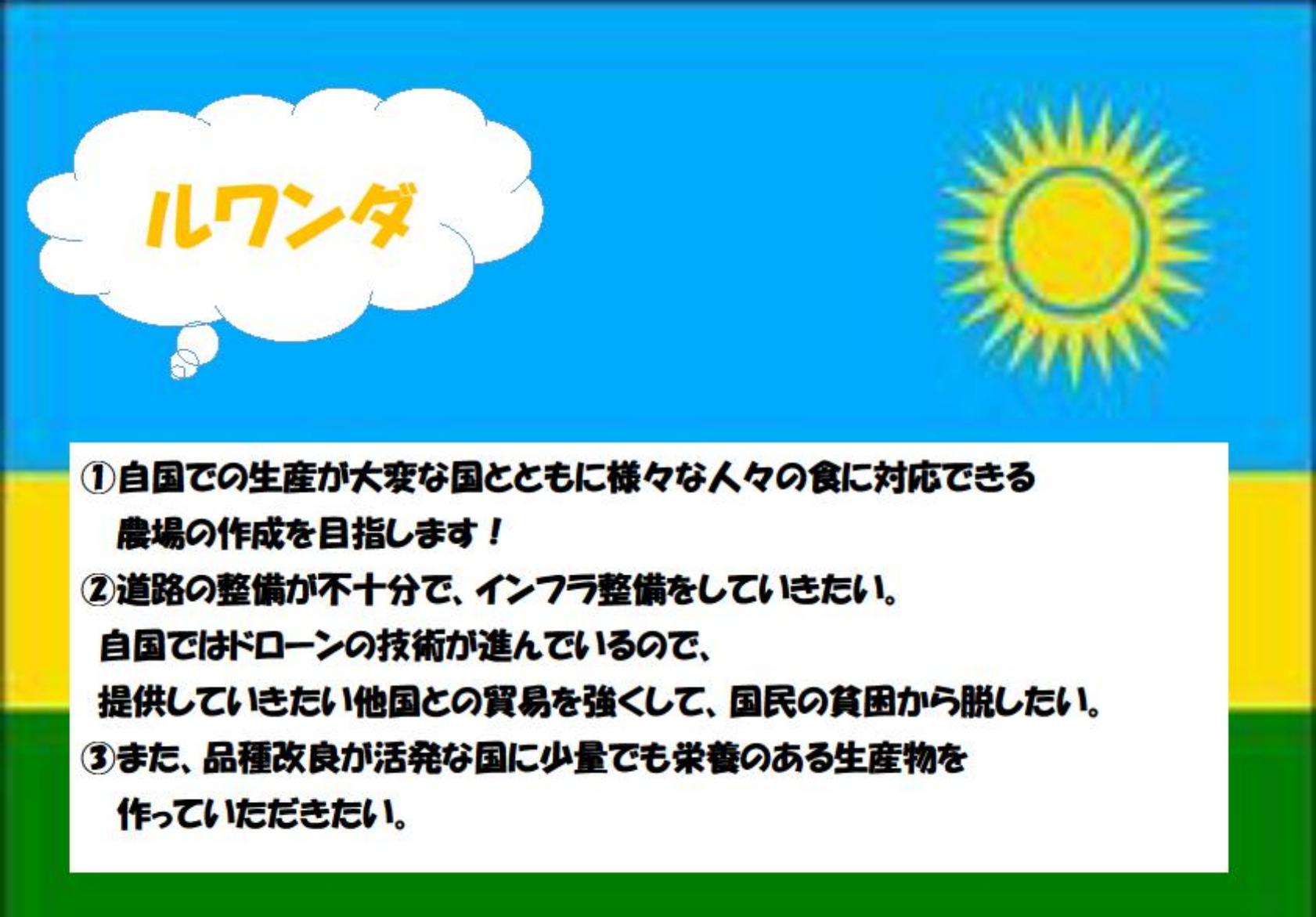
- 国ごとに自国の現状や方針等を3分間英語でスピーチ
- 県立女子の外国人講師に来ていただき、アドバイスをいただく



政策作成

- ・国ごとに議題に対する政策をまとめる
(NP、ネゴシエーション ペーパーと呼ばれるもの)
- ・それぞれの国の立場から、食糧問題の解決案を考えて発表する。

例)



ルワンダ

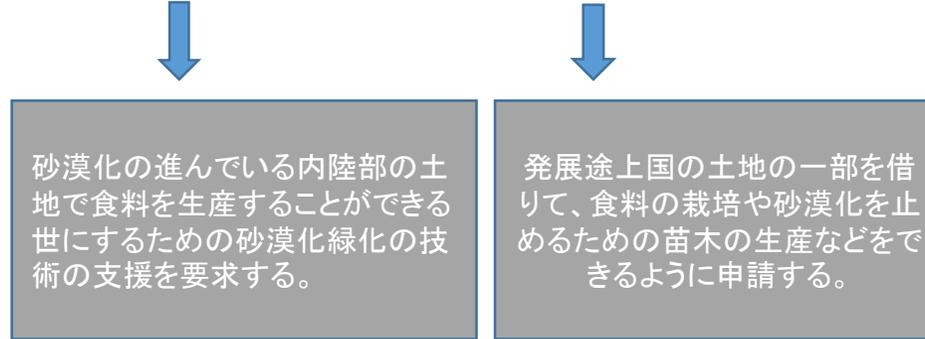
- ① 自国での生産が大変な国とともに様々な人々の食に対応できる農場の作成を目指します！
- ② 道路の整備が不十分で、インフラ整備をしていきたい。
自国ではドローンの技術が進んでいるので、
提供していきたい他国との貿易を強くして、国民の貧困から脱したい。
- ③ また、品種改良が活発な国に少量でも栄養のある生産物を作っていただきたい。

China



課題1

砂漠化が進み農作地が限られてしまうのでは？



課題2 貧困問題について

貧困部の激しい農村部に食料を届けるためのインフラ整備のための資金提供を要請する

飢餓と食料の安全面

飢餓状態の人は、世界に10億人いるといわれている。そのうち、4割が中国とインドの人々

また、安全面でいえば、中国の工場の汚さと言ったら世界トップレベル

模擬模擬国連

- 模擬国連の流れを把握できるように実施（模擬国連の模擬、ということ！）
- クラスごと 2人で1国を担当
- 議題「国連カフェメニューの決定」 Deciding the menu of the United Nations Café
- 担当国の基本情報（ポジションペーパー）を参考にしながら、自国の政策・方針を政策形成用紙（ポリシーペーパー）にまとめる
 - 議論・交渉を繰り返し、メニューを決定

1日目の様子

スピーチ

- ・1日目は英語
- ・メッセージ
 - ①自国の状況と立場
 - ②求めるDR・解決策の方針
 - ③自国の存在をアピール

スピーチは会議の華



モーション(動議)の募集

- ・会議進行に関する提案
(今回はアンモデのみ)

Motion!!

- ・大きな声で議長にアピール！
- ・会議後にプチ流行語になりました。

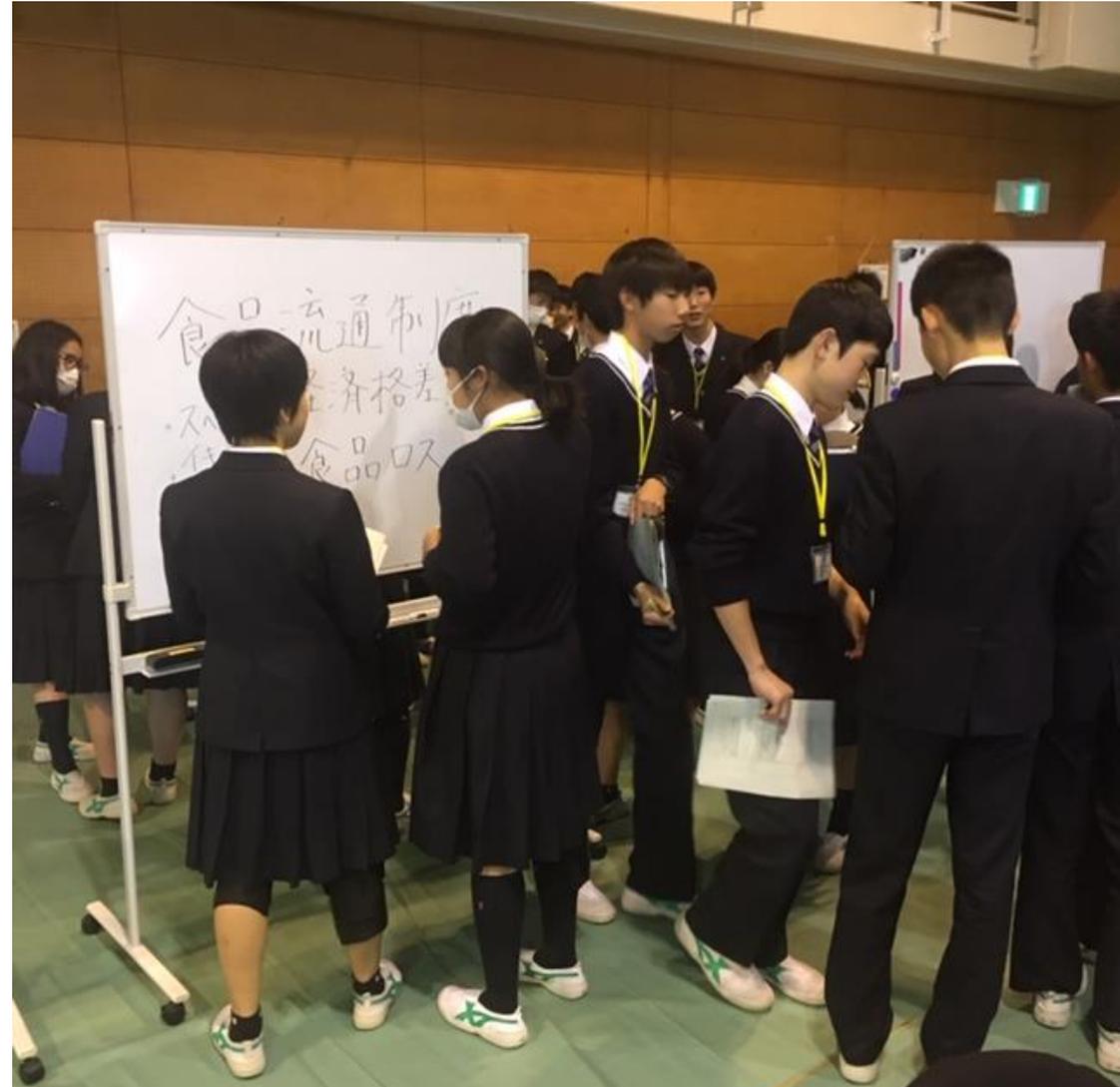


自由交渉 (Unmoderated Caucus)

- ・会場のいたるところで、大使が自由に議論・交渉
- ・交渉や議論の主戦場

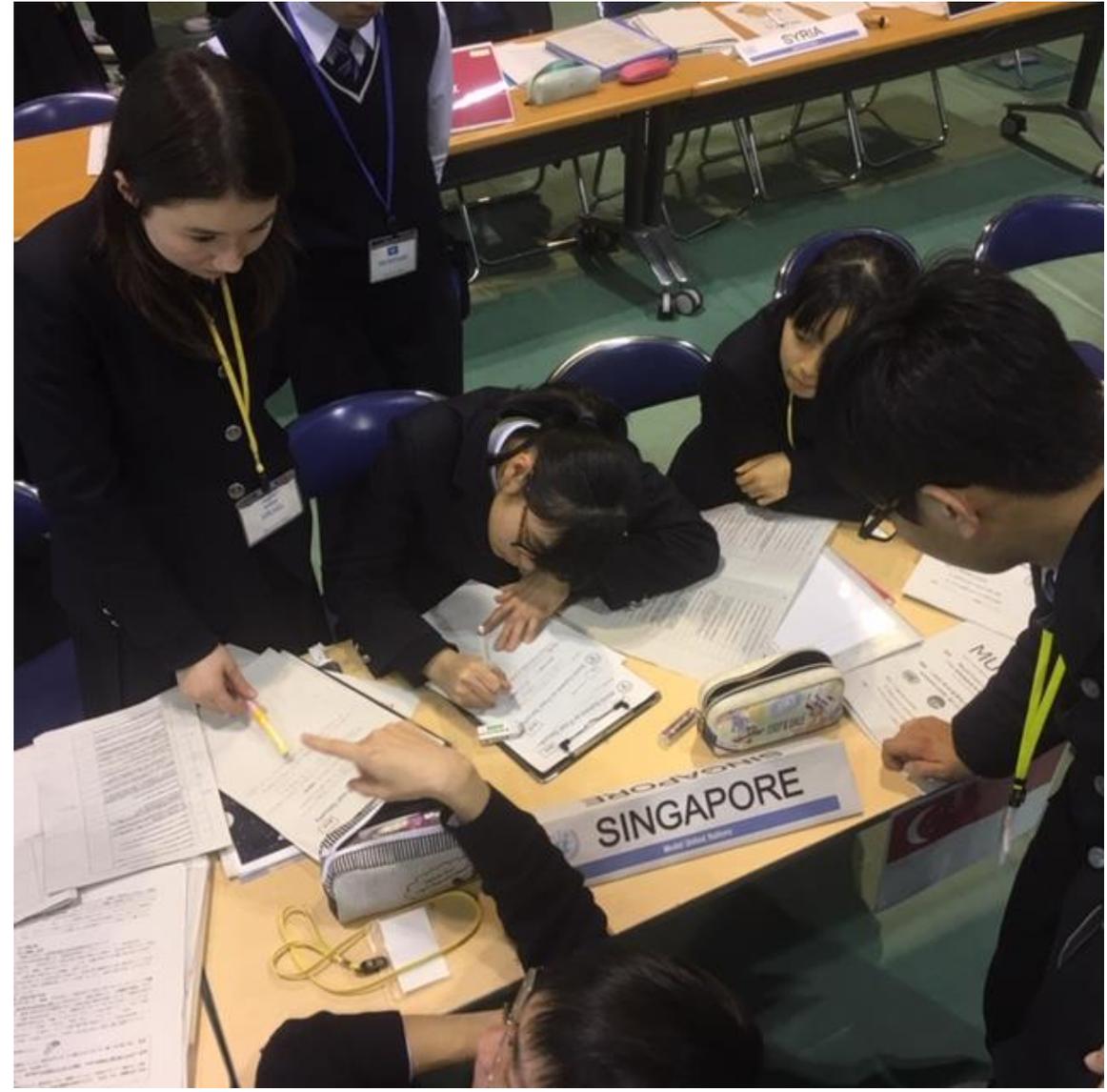


WPの作成



Working Paper (WP) 作成

- 1日目の最終提出物
- スポンサーは5か国以上
(同じ目標を持ち、一緒に
DRを作成を目指す国のこと)



2日目の様子

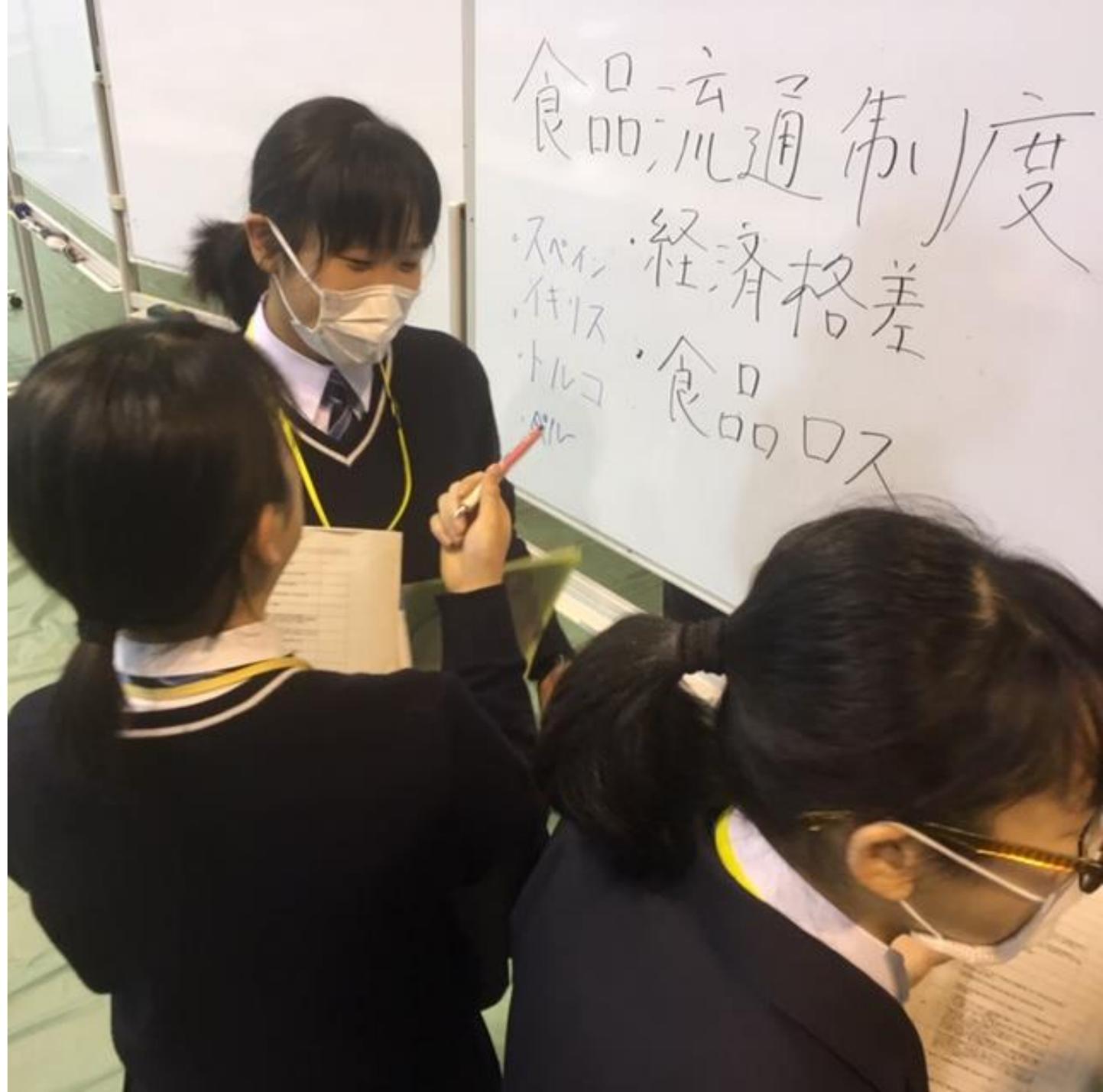
スピーチ

- ・2日目は日本語
- ・WPの説明



自由交渉

- 各グループでWPを修正
- グループを拡大・合体
- DRの最終仕上げ



DR（決議案）作成

今回は、各グループが食料問題に関する「行動計画案」を出し合って、それをまとめたものを「DR」にしました。



World Summit on Food Security

Distr.: Limited

13 February, 2019

Original: Japanese

Agenda item: Food Security: How to feed the world in 2050

世界食料安全保障サミット2019 ～2050年の世界をどう養うか～

We, the Heads of State and Government, have assembled at the World Food Summit to take urgent action to eradicate hunger from the world.

Acknowledging the efforts of The World Food Program (WFP) Food and Agriculture Organization (FAO),

Recalling Sustainable Developing Goals which was agreed by all over the world in 2015 to realize sustainable world by 2030,

Desiring to achieve food security for all and make sure that people have regular access to enough high-quality food to lead active, healthy lives,

Recognizing the importance of solving the issues of food security immediately,

Affirming the three points, sustainable production technology, steady and safe supply of food, safe and nutritious, high-quality food access,

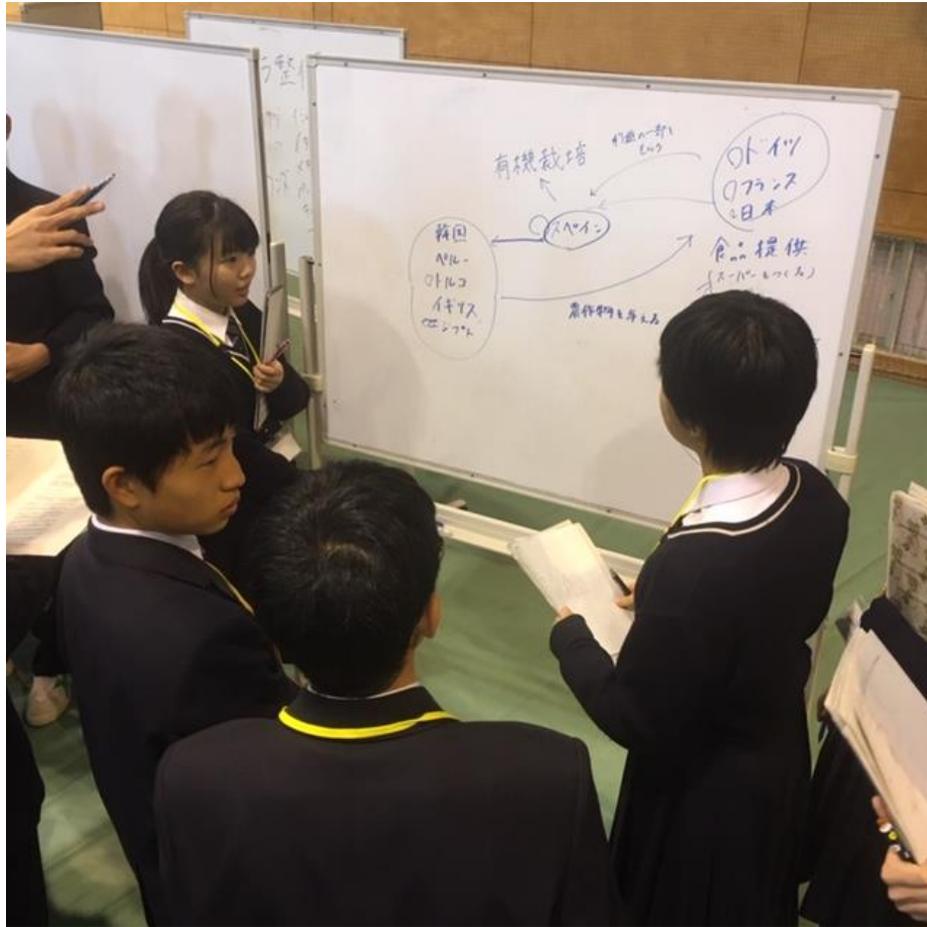
We pledge our actions and support to implement the World Food Summit Plan of Action,

World Summit on Food Security
Plan of Action

投票・採択

今回は、各国が「Yes」「No」で各行動計画案に対し意見を示し、3分の2以上の賛成によって行動計画案が採択される多数決(ロールコール)を採択の方法としました。

会議の様子



最終的な行動決議案の採択のために、ホワイトボードを活用するなど、合意形成に向けて各国の大使が努力していました。

会議を終えて

〈大使の感想〉

- 自国益を判断するのが難しかった
- 自国だけでなく他国についても調べておけばよかった
- もっとスピーチをしておけばよかった
- 最初はよくわからなかったが、やってみたら楽しかった
- 最初から合意を意識して、議論を進められるとよかった
- リーダーシップについて考えさせられた
- とてもよい経験になったので、もっと試してみたい

次年度の皆さんへ

模擬国連は最初は難しい！

でも、わかってくるととても楽しい！

積極的に、たのしみながら一生懸命取り組んでみてください！

議長団にも大使にもそれぞれのやりがいがあります

みんなの良いアイデアをたくさん引き出していきましょう！